

## 技術委員会報告

### (1) 公認B級コーチ養成講習会(中国コース) (2) 公認C級・D級コーチ養成講習会

#### (1) 公認B級コーチ養成講習会(中国コース)

7月10日(月)から15日(土)まで、標記講習会が県立おのだサッカー交流公園で行われました。地域開催のコースということで、中国地域の指導者はもちろんのこと、九州などからも参加者があり、大変熱のこもった講習会となりました。

受講生が最も苦労するところが、「観る、見取る」ことです。B級は、これからのサッカー指導者におけるスタンダードになっていきます。

そこでは、ON(ボールがある、ボールに関わっている)の選手のプレーの分析はもちろん、そこに至る過程やその後、つまりOFFの状況まで把握していくことが要求されます。

JFAの望月一頼・梁圭史両インストラクターのご指導で少しずつ理解していく様子が見て取れました。さらに積極性も相まって、「非常に意欲的に且つ楽しく取り組んでいる。今後の伸びに期待している。」

(望月氏)とのコメントがありました。なお、本県より参加している西村智・二木直人・安部隆志・上垣卓也4氏も非常に充実した様子で前期講習会に参加しておられました。

なお、平成30年度より、このB級コーチ養成講習会をレノファ山口と山口FAの共同開催として行う予定にしております。詳細は決定次第、本HPへアップします。



#### (2) 公認C級・D級コーチ養成講習会

7月14日(金)からC級、15日(土)からD級のそれぞれ養成講習会が、県内東部地区でも開催を、という要望もあり、本年度は柳井市で開催されました。

柳井市のウェルネスパークで行われ、スポーツを教えるために必要な知識を理解しながら、D級では、指導者の入り口としてサッカーを楽しむことの大切さを教えること、C級では、教えることと導き出すことの区別、トレーニングの構築についてなどを学びました。C級については、この後チームで実践などを積み重ねながら、/秋まで講習会が続いていきます。

D級講習会終了後のアセスメントでは、「こどもと接するときのお手本になるように、我々に対してもいろいろな工夫をされており、その一端を教えていただいた。」「ゲームから逆算していくことの意味がよく分かりました。」「オーガナイズには意味があることがよく分かった。」などの意見をいただきました。

指導者養成部会では、今後も県東部地区での開催を継続していきたいと考えております。ぜひこういった機会に、多くの方にJFAの選手育成のシステムに触れていただき、指導者の皆さんと育成のベクトルを合わせていきたいと考えています。(文責 技術委員長)

